ITパスポート試験対策動画。今回のテーマは主成分分析です。

このテーマを取り上げた理由としては、当チャンネルのコミュニティで実施しております、ITパスポート試験一問一答にて正答率が70パーセントを割っていたため作成いたしました。

主成分分析。PCA。プリンシパルコンポーネントアナリシス。。

多くの変数を持つデータを集約して主成分を作成する統計的分析手法のことです。

データの情報量を削減してデータの特徴を可視化したり要約したりするのに使われます。例として、6科目のテストを行った結果を主成分分析すると、第1主成分に文系科目、第2主成分に理系科目という指標で受験生の能力を可視化することができます。マーケティングや研究開発、機械学習などで利用されています。

それでは早速かこもん研究に移ります。

令和6ねんど。

とい6。えー社では、顧客の行動や天候、 販売店のロケーションなどの多くの項目から成るデータを取得している。これらのデータを分析することによって販売数量の変化を説明することを考える。その際、説明に使用するパラメータをできるだけ少数に絞りたい。このときに用いる分析法として、 最も適切なものはどれか？。。

ア。ABC分析。。い。クラスター分析。。ウ。主成分分析。。エ。相関分析

せいかいわ。う。主成分分析です。簡単でしたよね？。分からなかった人は、動画を始めから見返してみてください。

他の選択肢についてもご紹介いたします。

クラスター分析。。

多くのデータの中から、似ているものをグループ分けするための分析手法のことです。例えば、たくさんの顧客のデータを元に、購買履歴や属性が似ている顧客をグループに分けることで、それぞれのグループに合わせたマーケティング戦略を立てることができます。マーケティング、市場調査、顧客セグメンテーションなど、様々な分野で活用できます。